



横浜市テニス協会ニュース

YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアービル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

2025年度 第48回全日本都市対抗テニス大会(青森市)

〔横浜市13年ぶりの全国大会2連覇〕

今年は青森県青森市にある新青森県総合運動公園テニスコートにて7月17日~20日で開催されました。

本大会は神奈川県より2都市の参加となり、また同じブロックになるというドローとなりました。今回より一般男女のシングルスがなくなりダブルス種目5対抗の対戦となつたため、今まで以上に勝敗の予想が難しく全試合気の抜けない戦いになると、大会前より選手間に周知し大会に臨みました。

会場について前日練習をしていると、前年度優勝したことで他都市は「打倒横浜」と意識していることが強く伝わり、選手共々改めて気を引き締めることもできました。

初戦は郡山市に5-0と快勝、翌日2回戦も佐賀市に5-0と初戦に引き続き完封勝利となりました。本戦ドローが決まった時点で準々決勝は平塚市になるのでは、と予想していた通り神奈川県勢での同士討ち。横浜市は県予選を免除されての本大会でしたので平塚市との対戦は妙な緊張感がありました、4-1と勝利を勝ち取りました。ただ、どの対戦も接戦(45女子のみ完封)で、神奈川のレベルの高さを身にしみて感じました。

準決勝は第2シードを接戦の上破りそのままの勢いで勝ち進んでいた浜松市との対戦になりました。ベテランも元インカレ優勝者がいたりなどバランスの良いチームでしたが、結果は5-0と完勝しました。

決勝戦は昨年準決勝で破った東京都チームと対戦。更なる選手強

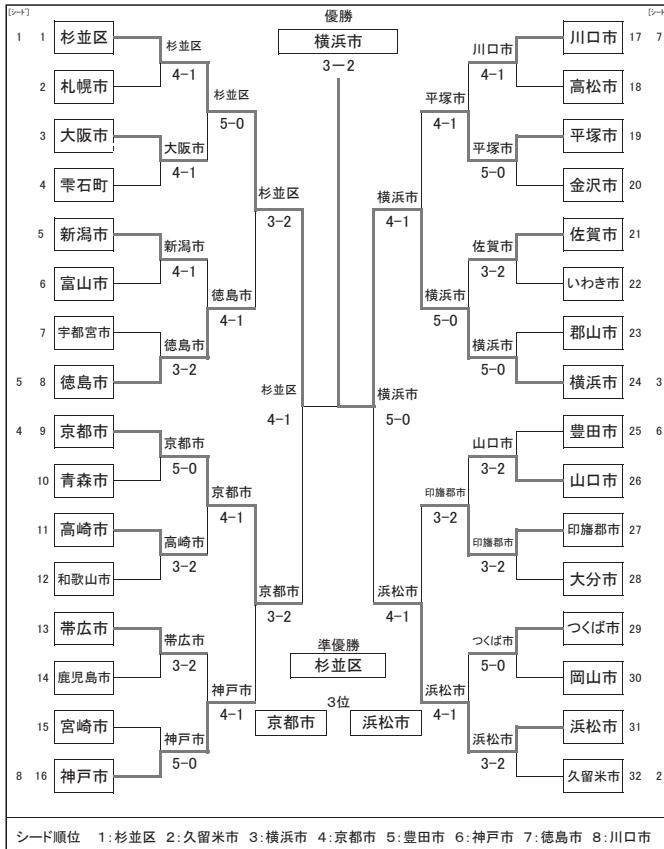
化を図り優勝奪還の勢いで挑まれましたが、まずは45女子が8-0の完封勝利でチームに勢いをつけ、一般男子は昨年敗れた相手に勝ち切りましたが、ベテラン男子55、45が2試合目となることで試合後半に失速してしまい、2-2と一般女子にかかる展開となりました。前半リードしつつも中盤に追いつかれ逆転されましたが、驚異の粘りと、思い切りのよい攻撃からタイブレーク戦に突入となりました。最後は昨年も優勝に導いた一般女子が7-4と大接戦をものにし、昨年に引き続き2連覇を達成することができました。

青森とは言え連日の酷暑の中、3日間にわたり選手の皆さんは本当に頑張ってくれました。まさに日本一にふさわしいメンバー、これぞチーム横浜と改めて日本一のチームだなと感じることができました。昨年に引き続き日下会長も石崎マネージャーも炎天下の中ご声援いただき、また試合前には各選手の気持ちを持ち上げていただき、各選手が気持ちよく試合に臨めるよう事前準備など細かな配慮をいただけたことで選手たちも最後まで勝利を目指して戦い抜くことができたと思います。

チーム横浜として会長・マネージャー・各選手が一丸になることで厳しい戦いを制し連覇できたと確信しております。

来年は宮崎県で開催予定です。シードになるためまた県大会はありませんが、13年ぶりの2連覇の次は3連覇を目指して準備していきたいと思います。

(監督 岡崎崇徳)



参加選手・監督マネージャー

- [監 督] 岡崎 崇徳 (リコー)
 [マネージャー] 石崎 勇太 (GODAI)
 [一般 男 子] 小林 雅哉 (リコー)、河野 甲斐 (リコー)
 [一般 女 子] 板谷 里音 (リコー)、大川 美佐 (リコー)
 [男子45歳以上] 岡崎 崇徳 (リコー)、長田 直樹 (ウッドテニス)
 [女子45歳以上] 梅田 真由美 (リーファTG)、
 塚本 ひとみ (藤沢市補強選手)
 [男子55歳以上] 岩波 広明 (とつかTC)、
 田中 久敬 (AGC庭球クラブ)

(引率:日下 啓二 会長)

第79回 横浜市民スポーツ大会テニス競技ダブルス

第79回横浜市民ダブルス大会が男子は11種目、女子は7種目で19会場で4月5日から5月18日まで13日間、12会場で開催されました。エントリーは昨年比-12組の581組でした。

気まぐれな春の天気で、雨や強風の中でプレーしていただくこともありました。予定通りの日程で終了することができました。1ポイントを無駄にしない熱戦、接戦でタイブレイクやファイナル10Pの試合がたくさんありました。各部門、優勝の皆様はおめでとうございます。残念ながら

涙をながした皆様も次の勝利に向けて楽しくテニスを続けて下さい。

来年は節目の80回大会です。多くの皆様の参加を期待しています。そして選手の皆様が存分に力を発揮できる大会を運営していくたいと思います。

最後に運営に携わっていただいた協会事の皆様、審判員の皆様、事務局の皆様にお礼申し上げます。

(市民ダブルス大会競技委員長 宮内達夫)

一般男子
優 勝

初ペアで参戦

山澤 翼・栗山 大輔(とつかTC・在住)

まずは本大会を開催、運営してくださった横浜市テニス協会の皆様、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。次にいつも練習環境を提供頂いておりますとつかTCのオーナー、練習に付き合って下さる会員の皆様にも感謝申し上げます。

毎年参加させて頂いているこの大会ですが、今年は栗山さんとの初ペアで参戦させて頂きました。あまり練習ができない栗山さんとは、怪我無いプレーと楽しくやることを目標としていました。

練習ができないものもありますが、体力的な問題を抱えながら試合に臨むことになりました。

案の定、1日目の2試合目61、31リードから体力切れでファイナルまでもつれる展開となり、最後は気力で勝ち切ることができましたが、苦行のような試合となってしまいました。

2日目は運も味方についてくれ3RはWO、万全な状態で4Rを迎えることができました。普段練習して頂いていてまた今大会優勝経験もあるペアだったので、3Rがなかったことが勝機につながったと思います。

Fでは体力的な不安もあり劣勢が続く展開となりましたが、気持ちを折らないことと、最後まで攻めの姿勢を貫いたことが、1セットダウンからの逆転勝利につながったかと思います。

最後に、誘いを受けてくれた栗山さん有難うございます。

(山澤 記)



《一般男子》山澤・栗山の各選手

一般女子
優 勝

小学生以来のペアで

後藤 叶恵・長谷川 彩香(TGLレニックス)

本大会を開催していただいた横浜市テニス協会様、協賛企業様にお礼申し上げます。

小学生の時に初めて出場したダブルスの大会でペアを組んでから、約20年ぶりのペアリングでした。

2人で衰えを感じながらも、終始試合を楽しみながらいい結果を残すことができ、嬉しく思います!

(後藤 記)



《一般女子》後藤・長谷川の各選手

男子35歳
以上の部
優 勝

3連覇は色々な人のおかげ

鈴木 翔・若松 哲也(ASP港浦台TS-Naturally tennis)

まず初めに大会を開催していただいた横浜市テニス協会、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。次に試合に出させていただいている今の環境、アトラクトスポーツプランニングの皆様、レッスンを受けてくださる生徒さんありがとうございます。

今回3連覇出来た事は色々な人のおかげです。ありがとうございました。テツもありがとうございます。

お互いに若くてバリバリ練習していく時のプレーは出来ず、こんなボールミスするんかいと苦笑いが増えましたが、お互い助け合って今の自分を受け入れて最後までプレー出来たのは楽しい思い出となりました。

4連覇はまだ出られるかわかりませんがこれからもテニス仲間を大切にして楽しみながら自分のテニスは続けていきたいと思います。最後になりましたが応援してくれた生徒さん、家族ありがとうございます!

(鈴木 記)



《男子35歳以上》鈴木・若松の各選手

男子40歳
以上の部
優 勝

緊張感を楽しみながら

日野 哲也・田ノ澤 真也(希望が丘TC)

はじめに、大会を開催していただいた横浜市テニス協会、関係者の皆様に御礼申し上げます。

ペアの田ノ澤選手とは、今回で4回目の挑戦となりましたが、今大会もペア間の年齢差を補うコートカバーをしてもらい、幾つもの接戦を制することができます。どちらが勝ってもおかしくない試合ばかりでしたが、お互いに緊張感を楽しみながらできたことが良い結果につながったと思っています。

この歳になってもテニスが続けられる環境に感謝しつつ、また来年、少しでも良い成績が残せるよう、練習に励みたいと思います。

最後に、日ごろから練習にお付き合いいただいているクラブの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(日野 記)



《男子40歳以上》日野・田ノ澤の各選手

男子45歳
以上の部
優 勝

左利き異色のペアで

青山 昇・千田 直治(希望が丘TC-Team Coke)

はじめに、大会を開催・運営していただいた横浜

市テニス協会関係者の皆様にお礼申し上げます。

今回2人共左利きという異色のペアで参加だったのですが、お互いの練習拠点が違うため、試合での調整を余儀なくされ先行き見えない試合がたくさんありましたが、ペアの千田君が要所で頑張ってくれて勝ち進むことができました。

また、いつも地味な練習にお付き合いてくれる希望ヶ丘TCのメンバーの皆様ありがとうございます。当クラブは横浜市民にたくさん参加していますが、お互いよい報告ができるよう皆様引き続き宜しくお願いします。

(青山 記)



《男子45歳以上》青山・千田、荒井・原口の各選手

男子50歳
以上の部
優 勝

全ての出会いに感謝!

木村 俊康・中丸 秀和(Y球会・テニスプラザ戸塚)

横浜市民ダブルスには3年前から参加していますが、接戦を勝ち抜くことができず途中敗退が続いていました。

昨年からはポイントを取る組み立てや、相手との相性を考えて柔軟にプレースタイルを変更する戦略を取り入れて試合に臨み、今年ようやく念願の横浜市タイトルを獲得することができました。これもひとえに、日々ショットの悩みやプレースタイルについて適切なアドバイスをしてくれるシダーズの星野コーチ、普段練習にお付き合いしていただいている朝練仲間、クラブメンバーの皆様のおかげです。

何よりもペアの木村さんには3年前に声をかけてもらい出場機会をもらったり、試行錯誤を繰り返しながら優勝する戦略を一緒に組み上げることができたことに、本当に感謝しています。

最後になりますが、本大会を開催・運営していただいた横浜市テニス協会関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

(中丸 記)



男子55歳
以上の部
優 勝

生涯スポーツと改めて思う

長田 栄治・山口 正夫(ケンウッドTC-アレスマイスター)

毎年目標としている市民大会に優勝でき嬉しい思います。今年は第一シード頂き、それを守れたのもさうに嬉しさが増しました。

今回テニスを長くやって改めて生涯スポーツだなと思うことがありました。ペアの山口さん

が中、高校時代にライバルだったペアと40年以上経った今、また戦うことになったのです。これはテニスが好きで継続したま、お互いが健康でいるという証です。何かとても素敵な思いになり、これからも長く頑張ろうと思いました。

これからも横浜市民に出席して色々な出会い、再会を楽しみたいです。最後になりますが大会関係者の皆様、今年も気持ち良くプレーをさせて頂きました。感謝致します。 (長田 記)



〈男子55歳以上〉長田・山口・樋木・下田の各選手

男子60歳以上の部 優勝 クラブのレジェンドとの格別の優勝
石田 晋・星野 哲也(ワールドTC)

はじめに本大会の運営にご尽力いただきました協会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本大会は中盤まで劣勢の試合ばかりで3回戦、準々決勝は0-5になり心が折れかけましたが、二人の辛抱 高いディフェンス力経験で勝つ事が出来、優勝に繋がったと思います。

ペアの石田さんには感謝感謝です。そしてワールドテニスクラブの仲間水曜日の強者達会場に駆けつけてくれた女神達塾生教授ありがとうございました。そして最後にいつも美味しい食事と気持ち良くテニスに送り出してくれる妻に感謝して終わります。ありがとうございました。 (星野 記)



〈男子60歳以上〉石田・星野・古賀・瀬川の各選手

男子65歳以上の部 優勝 ペアを信じて3連覇
細尾 隆昭・西海 武司(横浜スポーツマンクラブ)

今年も、楽しく大会に参加させていただき、協会役員の皆様に御礼申し上げます。

今年、三連覇できましたが、ペアの西海さんに感謝です。フルセットと、厳しい試合もありましたが、ペアを信じ、自分のプレーは、日頃のテニスを心がけたことが結果に繋がったのではないかと思います。日頃、一緒に練習していただいているクラブメンバーに感謝・感謝です。 (細尾 記)

3連覇をいつものペアの細尾さんと達成出来、喜びもひとしおです。雨模様の中、日程調整に苦心された大会役員の皆様に感謝申し上げます。

決勝2セット目後半バテバテの中、ペアの素晴らしいショットに助けられ、勝利することが出来ました。体力の低下を感じながらも、好きなテニスが更に上達するよう横浜スポーツマンクラブの仲間と練習・ゲームに励みます。 (西海 記)



〈男子65歳以上〉細尾・西海・萩原・門田の各選手

男子70歳以上の部 優勝 信頼度100%のペア
池田 正道・岡部 繁(TGレニックス)

本大会を開催・運営していただいた横浜市テニ

ス協会、関係者の皆様に御礼申し上げます。

試合のプレッシャーに弱い私を見かねたペアから「いつもどおり!強気で!」と何度も声掛け鼓舞され、自分のプレーを反省しできるだけ相手に攻撃されないよう粘り強く返していったところ、ペアが要所要所で決めてくれました。

どの試合もポイントの競り合いで、特に決勝戦では流れが行き来しましたが、何とか押し切れた感じです。優勝の喜びは格別で、これも信頼度100%のペアのお陰と思っています。

最後に、毎試合に応援に来てくれた女神さまたち、日頃練習にお付き合いたいT.G.レニックスの仲間たちに心から感謝申し上げます。これからも楽しく厳しく練習してテニスライフを満喫していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。 (岡部 記)



〈男子70歳以上〉池田・岡部・岩川・美田の各選手

男子75歳以上の部 優勝 健康を維持して
石田 秀夫・増村 正(横浜スポーツマンクラブ)

本大会を運営してくださった横浜市テニス協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

昨年は大会前に小生が脚の肉離れを起こし1回戦から大変苦労しました。今年はペアの増村さんがエルボになり、「大会出場は無理かな」と思っていましたが、大会本番が近づくにつれ、腕の痛さも少なくなり、無事出場できました。

後期高齢者(75歳以上)になると怪我には注意していますが、上手くコントロール出来ていないのが現状です。今後も更に怪我に留意しなければいけないと共に、年々認知症との勝負もあり、大会参加の壁は年々高くなります。

来年も健康を維持して、「4連覇を冥土の土産」にすべく、頑張りたいと思います。今年も横浜スポーツマンクラブのテニス仲間たちに感謝申し上げます。 (石田 記)



〈男子75歳以上〉石田・増村・中嶋・横山の各選手

男子80歳以上の部 優勝 久しぶりの大会参加で
渡部貞吉・佐藤明夫(サンプリッジTC本郷)

久しぶりのテニス大会への参加で、スタミナ、体調等々心配していましたが、何とか無事に終わることができました。

パートナーのお陰で、普段通りのテニスが出来て決勝戦まで行けたので、幸いでした。雨の為に試合の日時、場所が変更されたりして選手も結構苦労したとおもいますがそれ以上に、大会関係者の方々は、大変だったと思います。本当にありがとうございました。



〈男子80歳以上〉渡部・佐藤・広田・秋澤の各選手

決勝はアンパイアもいて、スムーズに試合が進みトラブルも無く、終わることができたと思います。又機会があれば、参加したと思います。 (佐藤 記)

女子40歳以上の部 優勝 貴重な機会となりました
太田 まゆ美・関 亜矢子(ASP港南台TS・塙本テニスカレッジ)

決勝戦は残念ながら対戦が叶いませんでしたが、立派な優勝トロフィーをいただきありがとうございました。

今大会は試合数は少なかったものの、大会ならではの緊張感を味わったり、会場で目にする選手の皆さんのプレーからたくさんの刺激を受けたり、今後の自分たちの成長につながる貴重な機会となりました。

大会の開催にあたり、いつも温かく声をかけ支えてくださる大会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。 (関 記)



〈女子40歳以上〉太田・関の各選手

女子45歳以上の部 優勝 試合に集中し2連覇
梅田 真由美・塙本 ひとみ(在住:T.G.レニックス)

まず初めに大会運営をして頂いた横浜市テニス協会、関係者の皆様に感謝、御礼申し上げます。

毎年決勝はファイナルにもつれる為、決勝当日前は緊張して会場に向かいましたが、試合に入る前に今年は優勝しても都市間交流が無い事を告げられ、テンションが下がったのですが、逆に変な緊張は解け試合に集中する事が出来ました。

ペアの塙本さんとは、しっかりペア練もしてきたので、いつも通りのテニスが出来、2連覇する事が出来て本当に良かったです。 (梅田 記)



〈女子45歳以上〉梅田・塙本・寺田・野口の各選手

女子50歳以上の部 優勝 念願の…
伊藤 美恵子・小林 美幸(ウッドテニス・Team Coke)

ペアの小林さんとは数年前から試合にトライ出来たらいいねと話していたのですが中々タイミングが合わず諦めていました。今回エントリー締め切り間近で念願が叶いました!

ペアのお陰で最初から最後まで楽しくプレー出来て幸せな時間でした。(美幸ありがとうございます!) 最後にになりますが運営にご尽力された協会の方々、関係者の皆さま、クラブの仲間、コーチ、応援に来てくれた友達に感謝します。 (伊藤 記)



女子55歳以上の部 優勝 自分を信じて、ペアを信じて
武井 佳代子・村松 恵子(在住)

まずははじめに、本大会の開催、運営に御尽力いただいた横浜市テニス協会ならびに大会関係者の

方々に厚く御礼申し上げます。

昨年は、不甲斐ない結果に終わり悔しさだけが残りました。そこから二人で色々な試合に出たり、各々練習を積み重ねてきました。

今年は、一つ上のカテゴリーにはなりましたが、本大会への意気込みややる気は昨年よりも増していました。

試合中もお互いに支えあって「自分を信じて、ペアを信じて」と言いながら共に戦い喜びを分かち合えたペアに、本当にありがとう良かったね! そして普段からレッスンで根気強く教えてくださる梅田コーチ、応援に駆けつけてくれたレッスン仲間、練習をしてくれる皆様や家族に感謝申し上げます。これからも感謝を忘れずに日々精進してまいります。ありがとうございました。(村松 記)



女子60歳以上部優勝 千葉千秋・白川佳代子(ラック港南台TG)

はじめに、大会を開催・運営していただいた横浜市テニス協会関係者の皆様に深くお礼を申し上げます。

今大会で同ペアとの出場が8回目となりました。45歳のカテゴリーから始まり、今まで逃してきたチャンスをやっとつかむことができ本当に嬉しく思います。

1回戦目から「ひとつづつ」を合い言葉にし、二人で良く考えて話し合うことをモットーに最後まで楽しくプレーできました。もちろん思い通りにいかないこともたくさんありますが、私のミスも笑顔で声をかけてくれて、数日間私の横にいてくれたペアに感謝しかないです。

二人で頑張って繋いでチャンスボールを決める! 全然簡単ではないけれど、それができた時の嬉しさがあるからダブルスは面白いです。

コーチを始め、一緒に練習してくれる仲間や応援してくださった方々に感謝いたします。ありがとうございました。(千葉 記)



女子65歳以上部優勝 大石令子・山内文子(テニスプラザ戸塚)

まず初めに、今大会を開催・運営して下さった横浜市テニス協会及び大会関係者各位に厚く御礼申し上げます。

この大会は2年ぶりでしたが、ペアの山内さんの決めが前回にも増して素晴らしい、私は一球でも多くボールを返すことに集中しました。各試合先行される場面があり厳しい展開でしたが、二人で話し合



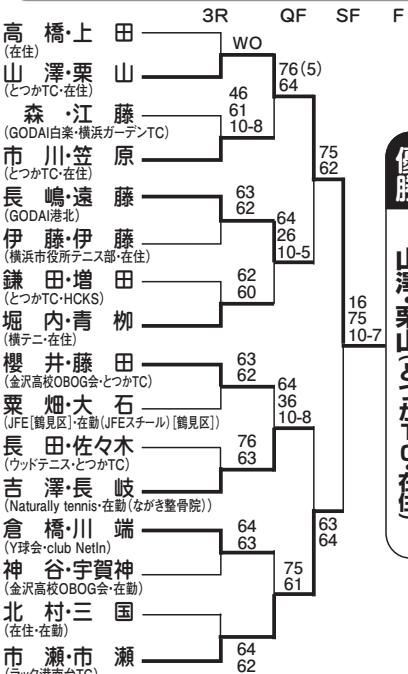
女子65歳以上部優勝 大石山内・大原鈴木の各選手

ながら最後まであきらめずに頑張れたことが結果につながったと思います。

最後になりますが、応援に駆けつけてくださったテニスプラザ戸塚の皆様、日頃より厳しく指導してくださるコーチ、練習にお付き合い戴いている仲間に感謝申し上げます。(大石 記)

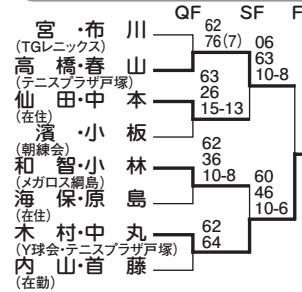


○一般男子



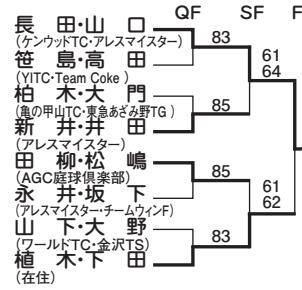
優勝 山澤・栗山 (Yamazawa, Risho)

○男子50歳以上



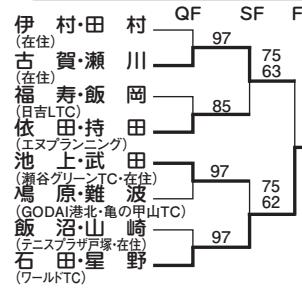
優勝 木村・中丸 (Kimura, Nakamura)
(Y球会 テニスプラザ戸塚)

○男子55歳以上



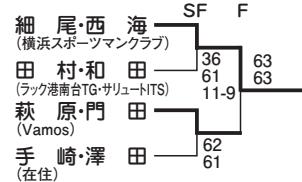
優勝 長田・山口 (Nagata, Yamaguchi)
(ケンウッドTC アレスマイスター)

○男子60歳以上



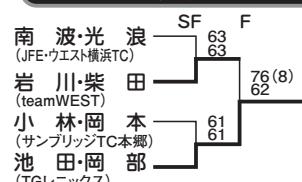
優勝 石田・星野 (Ishida, Hideto)
(ワールドTC)

○男子65歳以上



優勝 細尾・西海 (Kinoi, Nishimae)
(横浜スポーツマンクラブ)

○男子70歳以上



優勝 池田・岡部 (Kitada, Okamoto)
(TGレニックス)

○男子75歳以上

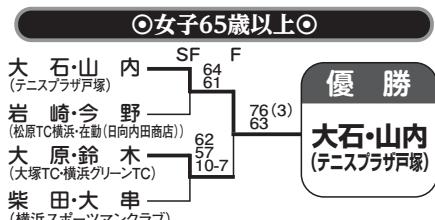
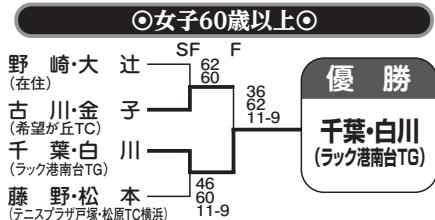
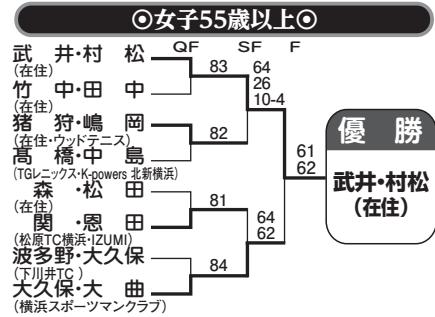
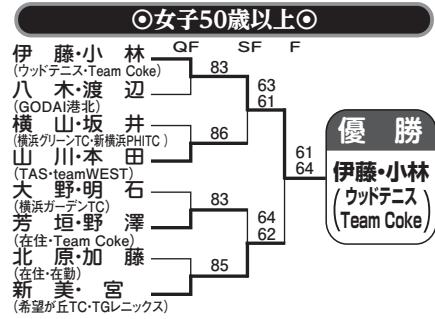
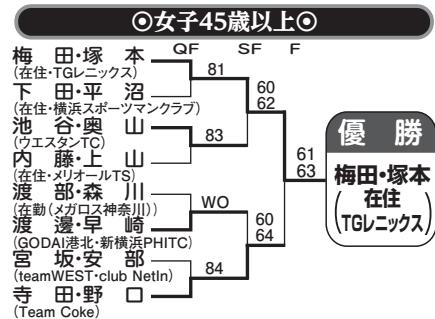
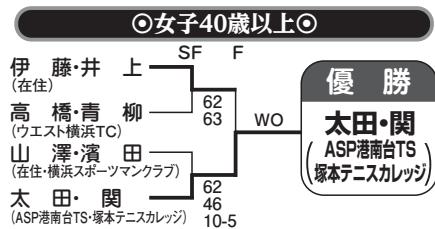
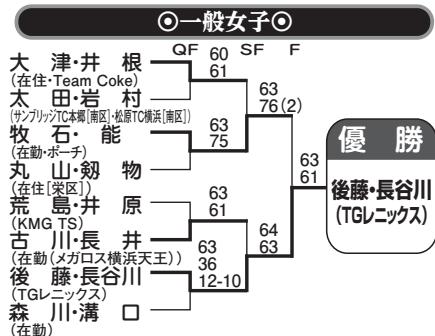


優勝 石田・増村 (Ishida, Masamura)
(横浜スポーツマンクラブ)

○男子80歳以上



優勝 渡部・佐藤 (Watanabe, Sato)
(サンプリッシュTC本郷)



第78回横浜市実業団対抗テニス

男子優勝:パナソニックC (初優勝)、女子優勝:神奈川県庁A (14回目)

3月から6月にかけて第78回横浜市実業団対抗テニスを開催し、成績は1部リーグにおいて、男子:パナソニックC (初優勝)、女子:神奈川県庁A (14回度目、5連覇) が優勝しました。

横浜代表チームの上位大会成績は、2024年秋季の第74回 (女子第36回) 神奈川県実業団対抗テニスリーグ (A大会) では、男子1部で神奈川県庁Aが準優勝、女子1部でAGCが3位の成績でした。

2025年5月の第98回神奈川県実業団対抗テニス大会 (B大会) では、女子の日揮HDが優勝し県A級2部に昇格、男子のボッシュが準優勝し県A級9部に昇格しました。

第79回横浜市実業団対抗テニスは8月10日から12月7日まで開催中で、72チームが市営公園コートや事業所コートなどで上位を目指し競っています。



【第78回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】

(各部の優勝チームのみ記載)

●令和7年3月～6月 参加75チーム(男63+女12) ●令和7年度運営事務局:日立JTE

男子優勝:パナソニックC、準優勝:神奈川県庁D、第3位:横浜市役所C

女子優勝:神奈川県庁A、準優勝:日揮HD、第3位:PFU横浜本社

《男子優勝(部別)》

1部:パナソニックC	3A:日立JTE-A	4B:資生堂研究所B
2A:GODAIスポーツアカデミー	3B:日揮HD-C	5A-C:東洋製罐グループHD-C
2B:横浜市水道局A	4A:中外製薬A	5D-G:住友電工B

《女子優勝(部別)》

1部:神奈川県庁A	2部:神奈川県庁B	—
-----------	-----------	---

★大会の日程や結果については協会ウェブページに詳しく掲示されています。

審判員講習会・横浜市での審判活動について

2025年度の審判員講習会は6月28日ならびに9月15日に潮田公園コートにて開催されました。当日は一般の参加者のみならず将来有望な高校生も含めテニスプレーを楽しみつつ審判実技:SCU (ソロニアアンパイヤ) の研修ならびに座学でのルール勉強会を行いました。

来年度も2回ほど講習会を企画します。多数の皆さんの参加をお待ちしています。また審判資格をお持ちの方で横浜市で活動を希望される方は是非、横浜市テニス協会の審判関係のページをご確認ください。一緒に審判活動を出来る日を楽しみにしています。



テニススクール実施中

(公財) 横浜市スポーツ協会主催のテニス教室新横浜公園テニスコートで実施。コートサーフェスはUSオープンで使用されていたデコターフです。詳しくは当協会のホームページをご参照下さい。

第17回 横浜親子ダブルストーナメント

— 親子の息の合った好試合に家族の大声援 —

8月3日(日)、8月10日(日)の2日間、小学生3年生から高校生までの9種目に113組が参加。初日は山手公園(小学生親子)と日野中央公園(小学生6年以下父親の一部・中学生親子・高校生親子)で実施。2日目の長浜公園は雨が心配されましたが、晴れ間をついて実施し、当初の予定通り全種目を終了することが出来ました。

コート上での猛暑に負けない親子の息の合った好試合に、コートサイドの家族の大声援もあり、楽しい盛り上がりでした。第1回大会から継続の協賛会社様提供(商品券、テニスグッズなど)の賞品抽

選会と山手公園コートでのテニスレッスン(延べ50名以上参加)のイベントも好評でした。

横浜開港150周年を機にスタートしたこの大会は今年で17回目。全国でも数少ない親子ダブルス大会を、家族ぐるみで楽しみにされている方もいらっしゃいますので、これからもテニス発祥の地、横浜の名物イベントとして、継続して開催していきます。親子の夏の思い出づくりに、ぜひ来年もたくさん参加していただきたいと思っています。

(親子ダブルス競技委員長 大村幸雄)

小学3年生以下 子供のおかげ 父親の部 優勝 藤原 奒・庵司(在住)

まず初めに「親子ダブルス」という珍しい素晴らしい大会を開催、運営してくださいました横浜市テニス協会関係者の皆様に感謝申し上げます。

昨年出場した際に子供たちから「来年もまた出たい!」と言われ、この1年間楽しみにしていた大会で、結果的に優勝(6年生の部は準優勝)することができ、我が家の一人生の思い出となりました。さすがに1日5試合は疲れましたが…笑

本当にこの1年で子供はとても成長し、今年は子供のおかげで勝つことができたと言っても過言ではありません。また来年も相手のお父さんとのラリーに勝ち「カモン!」と言っている息子の姿が見たいです。最後に親子で所属しているK-powersテニスアカデミーのコーチ・スタッフの皆様、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。 (奨記)



[小学3年生以下父親] 藤原親子、頬親子の各選手

良い思い出に

小3母 優勝 小林 亜沙美・璃子(横浜ガーデンTC・在住)

大会を企画運営してくださった大会関係者の皆様に心より御礼申し上げます。おかげさまで長女と組んで優勝した時のように、次女とも優勝することができ良い思い出をつくることができました。横浜ガーデンテニスクラブや東急あざみ野テニスガーデンでたくさん鍛えていただき、成果として残すことができ嬉しく思います。親子共々、今後もレベルアップできるように頑張っていきたいと思います。

(亜沙美記)

東急あざみ野テニスガーデンの川上コーチと白井コーチのレッスンのおかげで優勝することができました。感謝しています。チャンスボールはちゃんと打ち込んで決めることができました。深いボールや短いボールはしっかり打つことはできなかっただけど、かえせたのでラリーが続きました。時々速いサーブが打てる時がありました。その時はサービスエースが取れました。楽しみにしていた親子ダブルスで優勝できて嬉しいです。ありがとうございました。 (璃子記)



[小学3年生以下母親] 小林親子、向井親子の各選手

小学6年生以下 三度目の正直 父親の部 優勝 五嶋 和夫・速人(在住)

まず初めに今大会を開催、運営してくださいました横浜市テニス協会関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

今回小学5年生になった息子の速人と大会に参加させていただきました。2年前に初めて参加させていただいた「小学3年生以下父親の部」は準優勝で、昨年は「小学6年生以下父親の部」で準決勝で敗退し、今回三度目の挑戦でやっと優勝できました。

昨年は特に逆転で負けて悔しい思いをしたので、今年は絶対優勝しようと親子で練習てきて、今回実現できて非常に嬉しく思っています。これからも息子とテニスを楽しみながら、子供の成長を見守りたいと思います。この度はありがとうございました。 (和夫記)



[小学6年生以下父親] 五嶋親子、藤原親子の各選手

小学6年生以下 母親の部 優勝

家族応援の中での優勝は貴重な思い出 高橋 めぐみ・新(在住・横浜スポーツマンクラブ)

息子がテニスを始めた頃から、「いつか一緒にダブルスの大会に出たい…」と思っていた夢が叶い、優勝という結果を残すことができたこと、とても嬉しく思います。

接戦で緊張感のある場面でも、親子で声をかけて気持ちを強くプレイでき、大切な場面では息子が活躍してくれました。そして家族の応援の中で優勝できることは、貴重で特別な思い出です。改めてテニスの楽しさを実感したと共に、この経験を糧にさらに成長を目指していきたいです。猛暑や雨天の中、素晴らしい大会を運営して下さった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。 (めぐみ記)

初めてのお母さんとの親子ダブルスで、僕はミスをしないように粘り強く戦いました。

特に準決勝は接戦だったけど、思い切って振り抜いて打ち込むことができました。これからは、攻撃的なテニスをしてもミスが減るように、たくさん練習して強くなりたいです。 (新記)



[小学6年生以下母親] 高橋親子、勝瀬親子の各選手

中学生以下 每年楽しみな大会で初優勝 男子の部 優勝 関 広・夢真(塚本テニスカレッジ)

毎年楽しみにしているこの大会で初めて優勝することができました。

試合中は、父と作戦を考えてポイントをとれたときが一番嬉しかったです。

暑い中、大会を運営してくださった皆さま、一緒に試合をした父や対戦相手の方々、ありがとうございました。これからも感謝の気持ちを忘れずにテニスを頑張りたいです。 (夢真記)



[中学生以下男子] 関親子、村田親子の各選手

中学生以下 娘の真剣勝負に感化され 女子の部 優勝 吉永真美・芽生(在住・横浜スポーツマンクラブ)

学生時代にしていたテニス。子供が産まれてから遠ざかっていたものの、少しずつ大きくなるにつれ一緒に遊びでやるように。

そんな娘も本格的にテニスを始め、試合での姿を見続け、真剣勝負は素晴らしいなあと感化されるように。

そんな時に目にしたのが親子ダブルス大会。娘と一緒に試合に出られるならと、テニススクールにも数十年ぶりに復活。ところが、娘へ口出しするのと、自分がやるのとでは大違い! 娘がいかに大変な事をやっているのか思い知らされるように。

試合中も、娘の足を引っ張らないよう、娘の戦略を素直に聞き、1日3試合をこなし、何とか優勝! 娘と一緒にテニスが出来た時間がとても嬉しく感じ、また、自身のテニスも再開したいなと思ったそんな時間だった。

最後になりますが、親子ダブルスという機会を与えてくださった横浜市テニス協会の方々、対戦相手の皆様、練習相手をしてくれたパパ、ありがとうございました。 (真美記)



[中学生以下女子] 吉永親子、上岡親子の各選手

中学生以下 挑戦楽しさ 混合の部 優勝 高野陽子・礼智(TOP横浜・在学・関東学院六浦中学)

まず初めに大会を開催運営して下さった協会の皆様に感謝致します。そしてここまで支えてくれた

家族やコーチにも感謝します。

母とのダブルスは久々だったので、あまりうまくいかなかっただけど、同い年の友達とダブルスする楽しさとは違う楽しさがあつて面白かったです。

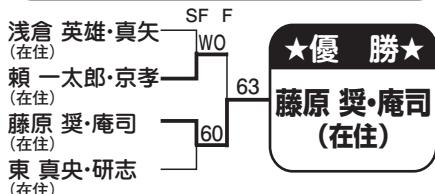
試合中、母がボレーの動きのアドバイスをくれたり、決まった時、ミスした時、作戦の時にコミュニケーションを積極的に取ってくれたので優勝できたと思います。

これからもひたむきに練習し次の大会も良い結果が残るように頑張りたいです。 (札信記)

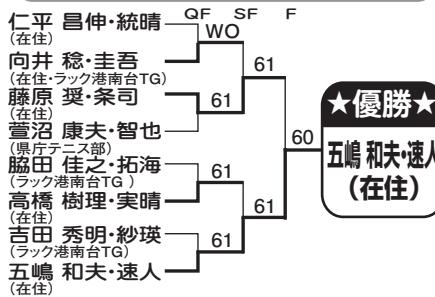


[中学生以下混合] 高野親子、石川親子の各選手

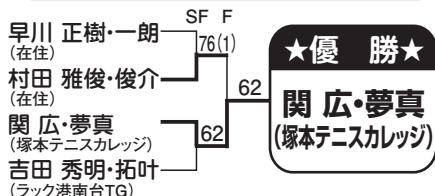
◎小学3年以下父親◎



◎小学6年以下父親◎



◎中学生以下男子◎



目標を持つ
高野 晃彰・暁生 (TOP横浜・在学 (関東学院六浦高校))

まず初めに非常に熱い中、今大会を開催して頂いた協会関係者皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

私たちは昨年から出場していますが、昨年は無我夢中でいいショットを打つことができませんでした。今年は優勝するまで必ず試合の中で目標を持ってプレイすると決めていました。

例えばフォアのリターンだけは全集中して何とか相手のコートに返すなどです。どんな試合でも目標を持って試合に挑めば一つ一つ自分の苦手を克服することに繋がることがわかりました。練習ででき



[高校生以下男子] 高野親子、宮崎親子の各選手

◎小学3年以下母親◎

	向井ペア	小林ペア	林ペア	順位
向井 悠子・瑛士 (在住・ラック港南台TG)	36 X	62 ○	2 1勝1敗	
小林 亜沙美・璃子 (横浜ガーデンTC・在住)	63 ○	61 ○	1 2勝0敗	
林 優・飛々斗 (在住)	26 X	16 X	3 0勝2敗	

◎小学6年以下母親◎

	河村 恵美子・優志 (GODAI白楽)	勝瀬 祐子・孝也 (横浜スポーツマンクラブ)	高橋 めぐみ・新 (在住・横浜スポーツマンクラブ)	川島 あゆみ・櫂 (在住)	順位
河村 恵美子・優志 (GODAI白楽)	64 ○				
勝瀬 祐子・孝也 (横浜スポーツマンクラブ)		64 X			
高橋 めぐみ・新 (在住・横浜スポーツマンクラブ)			75 X		
川島 あゆみ・櫂 (在住)					

★優勝★
高橋 めぐみ・新
在住・
(横浜スポーツマンクラブ)

◎中学生以下女子◎

	関 亜矢子・未夢 (塚本テニスカレッジ)	高橋ペア	野田ペア	順位
関 亜矢子・未夢 (塚本テニスカレッジ)	63 ○	60 ○	1 2勝0敗	
高橋 佳奈子・結那 (イエニスカレッジ・アンド・スクール)	36 X	36 X	3 0勝2敗	
野田 麻子・美乃莉 (在住)	06 X	63 ○	2 1勝1敗	

◎中学生以下混合◎

ても試合でできなければ自信にはならないので、これからも目標を持って試合をしたいと思います。

(暁生記)

とても良い思い出に
関 亜矢子・未夢 (塚本テニスカレッジ)

今回、母と一緒に出場して優勝できたことを本当にうれしく思います。

高校生になり普段は一緒にテニスをする機会があまりなくなっていましたので、この試合を通して楽しくテニスができたことがとても良い思い出になりました。親子で支え合って最後まで楽しくプレーできたことが何よりです。このような機会をくださった大会関係者の方々にも心から感謝します! (未夢記)



[高校生以下女子] 関親子、野田親子の各選手

◎高校生以下男子◎

	高野 晃彰・暁生 (TOP横浜・在学 (関東学院六浦高校))	渡辺 浩平・翔太 (在住)	宮崎 亮・佑基 (在住・在学)	野崎 雄二・蓮人 (在住)	順位
高野 晃彰・暁生 (TOP横浜・在学 (関東学院六浦高校))	SF F	WO			
渡辺 浩平・翔太 (在住)	61				
宮崎 亮・佑基 (在住・在学)					
野崎 雄二・蓮人 (在住)					

★優勝★
高野 晃彰・暁生
(TOP横浜・
在学 (関東学院六浦高校))

◎高校生以下女子◎

	関ペア	高橋ペア	野田ペア	順位
関 亜矢子・未夢 (塚本テニスカレッジ)	63 ○	60 ○	1 2勝0敗	
高橋 佳奈子・結那 (イエニスカレッジ・アンド・スクール)	36 X	36 X	3 0勝2敗	
野田 麻子・美乃莉 (在住)	06 X	63 ○	2 1勝1敗	

	石川 義晃・琴遙 (在住)	長嶋 典彦・愛 (在住)	河合 素子・勇磨 (在住)	高野 陽子・礼信 (TOP横浜・ 在学 (関東学院六浦中学))	順位
石川 義晃・琴遙 (在住)	SF F	61			
長嶋 典彦・愛 (在住)		63			
河合 素子・勇磨 (在住)			61		
高野 陽子・礼信 (TOP横浜・ 在学 (関東学院六浦中学))				★優勝★	

※高校生以下・混合の部は既定組数に達しなかったため未実施。

◆第18回春季シニアテニス教室◆

2025年度の春季シニアテニス教室は4月～6月の火曜日、6回長浜公園で開催されました。今回から暑さ対策で開催時間を朝9時に変更して体力的に無理をしないように、また指導員とのラリーを増やすことでラリーが続く楽しさを味わって頂くように心掛けました。

回を重ねるごとにレッスン後の生徒さん同士の会話も増え笑顔で楽しくて頂きました。

秋季は9月から本牧公園が会場となり参加人数も増え、より一層楽しんで頂くように3面での開催です。ご興味のある方は是非、横浜市テニス協会のHPをご覧ください。途中入会も受付ております。秋空の下一緒にレッスン出来る日を楽しみにしています。



一緒に参加出来る事になり、昨年以上の団結力をチームワークで優勝することが出来ました！

全員テニスをモットーに「打倒YSC！」を目標に掲げ、オーダーを考え何よりもこの暑さでの体調面を考慮しながら試合に応援にとみんなで最後まで戦い抜く事が出来、この夏最高の楽しい思い出となりました！最高のチーム！ありがとうございました！（山川記）

シニア男子60の部優勝：YITC 逆転の試合で涙れる展開



待ちに待った60歳の部の新設でした。初代チャンピオンを目指して我がチームYITC（横浜イ

ンターナショナルテニスコミュニティ）は7月からの一ヶ月間死に物狂いで暑い中、仲間と共に駆け抜けました。逆転の試合が多く痺れる展開が続きました。

運営に携わって頂いた横浜市テニス協会の皆様、猛暑の中にも関わらず、気持ち良いテニス大会をありがとうございました。

試合に応援に来ていた会員の皆様、全YITCメンバー、対戦相手選手、お陰様で楽しくテニスをすることができました、ありがとうございました。

来年も皆様とお会いできるように今週末もいつものようにメンバーが待つ山手のクレイコートに行ってきます。（松山記）



シニア女子60の部優勝：マーガレット（横浜スポーツマンクラブ）

格別な優勝



猛暑の中で行われた今大会、本当に厳しいコンディションではありましたが、みんなの頑張りとチームワークで勝ち取ったこの優勝は、何よりも格別なものになりました。年齢を重ねても、こうして挑戦できる場があること、そして大会を運営してくださった皆さんには、心より感謝申し上げます。

これからも健康に気をつけながら、仲間を大切に、元気で楽しくテニスを続けていきたいと思います。ありがとうございました。（阿部記）

新テニスプレーヤーのためのスポーツ医学⑥

握る。支える。打ち返す。

～「ばね指」と「デュピートラン拘縮」～

日本医師会認定健康スポーツ医 吉田 徳



テニスにおいて“手”的働きは当たり前すぎて、普段あまり意識しないかもしれません。しかし、その“当たり前”が崩れた瞬間、プレーは一変します。プロの世界でも、ナダルのように手の炎症でプレーを調整した例、デルボトロが手首やグリップの問題でバックハンドを変えた例は有名です。私たちも同じです。今回は、特にテニス愛好家に多い「ばね指」と耳なじみがない「デュピートラン拘縮」について、指の中で何が起きているのかも含めて解説します。

ばね指（弾発指）とは？

ばね指は、指を曲げ伸ばしする時に「カクン」と引っかかり、時に強い痛みを伴う病気です。この引っかかりの正体は、指を曲げる腱が“腱鞘”というトンネルをスムーズに滑れなくなるために起こります。

【指の中で何が起こっている？】

指を曲げる腱（屈筋腱）は、手のひら側で骨に沿うように通っています。この腱が浮かび上がって力が逃げないように、腱は「腱鞘」というトンネルの中を移動（滑動）します。腱鞘には、外側の硬い「韌帯性腱鞘」、内側の「滑膜性腱鞘」があります。指にはいくつもの腱鞘がありますが、ばね指のほとんどは「A1ペーリー」という部分に起こります。

【A1ペーリーとは？】

A1ペーリーは、指を曲げる腱が骨から浮かないように押さえつけ、滑車のように力を伝える働きをする韌帯性腱鞘です。

指の付け根（手のひら側）にあり、指を握るたびに大きな力がかかる場所です。

A1からA5まで複数のペーリーが指には並んでいます。

【なぜ引っかかるのか】

A1ペーリーの内側にある滑膜性腱鞘が、繰り返しの刺激や使いすぎで炎症を起こし、分厚く腫れると、トンネルの中が狭くなります。狭いトンネルを腱が無理やり通ると、滑膜ごと韌帯性腱鞘に引き込まれ、「カクン」という引っかかりが起ります。この時、腱鞘の中の圧力が高まり、痛みを感じる神経終末が強く刺激されるため、指の付け根に鋭い痛みを感じます。

【どうすれば楽になる？】

痛みを和らげるには、炎症を抑える（安静・冷却）、滑膜の腫れを抑える（ステロイド注射）、重症

なら腱鞘を切開してトンネルを広げる（手術）などの方法があります。

オススメは以下のストレッチです。

A1ペーリーストレッチ

①手関節軽度背屈位にて、MP関節（手のひらと指の境目にある関節）・PIP関節（指の真ん中の関節）90°程度屈曲、DIP関節（指先に近い関節）伸展位で母指球と指腹でウッドブロック（100均で売っています）等を握り、屈筋腱を最大収縮します。ウッドブロックが無い場合は自分の逆の手の拳で代用可です。

②リラックスさせた肢位で手関節背屈位にてMP・IP関節（親指の関節）を他動伸展します。



【テニスとの関係】

テニスでは、グリップを強く握り続ける、片手バックでの手首の強い動き、グリップサイズの不適合などが原因となりやすいです。グリップテープの厚みを微調整したり、練習量を管理して炎症を最小限にすることが望ましいです。

デュピートラン拘縮とは？

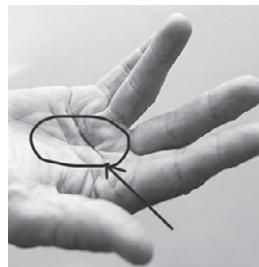
デュピートラン拘縮

指が固まつたかのようになって、動かし辛くなり、手のひらのあたりには皮膚がひきつれて、コブのようなものができる疾患があります。一見、腱鞘炎のようにも思えますが、実は全く違う病気です。この疾患を「デュピートラン拘縮」といいます。これはあえて浮き立たせようとしているわけではなく、そのような形で固まってしまい、完全に指が伸ばせない状態になっているのです。しかし、痛みがあまりないというのがこの疾患の特徴です。腱や腱鞘は正常で、その周囲にある組織が肥厚し、癒着しているような状態です。それが皮膚の下で、索状物（硬いすじっぽい）としてふれます。

多いのは薬指と小指で、母指は最も少ないと言われています。詳しい原因はわかつていません。

しかし、この疾患は60歳以上の高齢の男性に多く見られ、一説には、糖尿病や、高脂血症などの疾患をお持ちの方に多くみられるとも言われています。デュピートラン拘縮は、痛みを訴えてこられることは少ないですが、指の機能で曲げることはさほど障害を受けないので、すぐには受診されない患者さんがほとんどです。ですので、不自由さにはかなり個人差があるので、絶対的に手術になるということはありません。

欧米で多く、ボリス・ベッカーも手のひらの腱膜の硬化で手術を受けたことが報じられています。



【テニスとの関係】

テニスが直接の原因ではなく、遺伝や生活習慣が主因です。しかし、グリップが握りにくくなる、ラケットが滑るなどでプレーに支障が出ます。

【治療】

初期はストレッチや経過観察ですが、自然治癒はあまり期待できないので、進行すれば腱膜切除手術となります。手の専門家である「手の外科」の医師にかかりましょう。

長くテニスを続けるために

「ラケットを握る」という何気ない動作を支えるのは、腱・腱鞘・腱膜の健康です。プロも手のトラブルでラケットを持てなくなったり、プレースタイルを変えざるを得ないことがあります。私たちアマチュアも同じ。違和感を見逃さず、練習後は手指のストレッチやグリップの見直しを習慣にしましょう。

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会は、(公財)横浜市スポーツ協会主催で毎年夏休み期間中に実施しています。練習会の運営を手伝っている横浜市テニス協会も次世代を担うジュニアの育成には、精力的に取り組んでいます。今年度の練習会は、7月19日から合計6日間で小学生から高校生まで計52名(延べ219名)の選手に参加していただきました。

コーチには、元デ杯選手の田辺正特別コーチを筆頭に、リコー実業団チームの現役選手等、横浜市トップクラスの方にご協力いただきました。参



協会インフォメーション

ホームページのご案内

★テニスに関する各種の情報を始め、大会の実施案内や日程等をお知らせするためにウェブページを開設しています。
<https://yokohama-tennis.jp/>

令和7年度新規加盟団体紹介(1団体)

三友テニスアカデミー青葉台校

横浜市テニス協会加盟団体内訳(令和7年9月18日現在)

営業クラブ(スクール含む).....	64団体
実業団.....	39団体
同好会.....	32団体
その他.....	4団体
合計.....	139団体